

平成29年3月10日

第5学年 保護者様

横浜市立豊田小学校

校長 瀬尾 芳保

平成28年度 横浜市学習状況調査の調査結果について

本年2月（平成28年度）、横浜市学習状況調査が実施されました。その目的とするところは、

- 横浜市教育委員会は、学力向上を目指し、学習状況を生活意識などと絡めて分析的・総合的に把握すること
- 各学校は、教科指導や教育評価などの改善に生かすこと
- 児童生徒は、学力向上に向けて自己評価や自らの学習の改善などに生かすこと

となっております。個々の児童の調査結果については、本日、全校一斉に「自己確認表」と「自己確認表の見方」を各ご家庭に配布しました。これまでの学習内容の理解の状況や学習方法を振り返り、さらに意欲的に取り組めるようにご活用いただければと思います。

次に、本校児童の学習状況についてですが、市平均とともに各学年、各教科、観点別、領域通過率として調査結果がまとめられました。各学年の考察から、改善が必要とされる内容につきましては、次年度へ引き継ぎ、指導改善を図っていきます。

<よいと考えられる状況>

- 国語 ・漢字の読み、書きは定着している。
- 社会 ・日本の米作りや自給率について、よく理解している。
 - ・資料やグラフの読み取りがよくできていた。
- 算数 ・分数の計算ができる。
 - ・合同の意味を理解して、合同な三角形をかくことができる。
- 理科 ・実験や観察したことを活かして、問題を解くことができる。

<指導及び改善が必要とされる内容>

- 国語 ・自分の課題を解決するために、複数の本や文章を比べて読み、必要な情報を選ぶことが難しい。
- 社会 ・地図帳の索引を使って、指定された場所を調べることが難しい。
- 算数 ・小数のかけ算、わり算が定着していない。
- 理科 ・種子の中の養分が含まれている部分を理解できていない。

学校ではこれまで以上に、子どもが興味・関心をもって取り組み、「学習が楽しい」と言えるように授業改善を図っていきたいと思います。併せて、子どもの学習環境をよりよいものにしていくために、ご家庭・地域のご協力、ご支援をよろしく申し上げます。